

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	北岡斜面崩壊対策事業					事業コード	020105540513					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策			施策コード	932						
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課			所属長	村上 五十鈴						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	69	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R6現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	地方財政法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府実施事業に係る工事負担金)											
関連事業	京都府施工の京都府西岡緊急自然災害防止対策(急傾斜)事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	急傾斜地について崩壊対策を実施することにより、人家・墓地の災害被害を低減する。											
対象者	地元住民	対象者数	139	単位あたりコスト	36.3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府急傾斜地崩壊対策事業)											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・京都府実施の急傾斜地崩壊対策事業(北岡地区)に係る工事負担金である。 ・北岡地区では、平成26年8月豪雨により斜面が崩壊したため、本来であれば急傾斜地崩壊対策事業の対象外であるが、負担金を全額本市が負担することで緊急的に事業が実施された。 ・京都府から墓地等関係者との協議に時間を要したことを理由とした工期の延伸の通知を受け、5年度に事業を繰り越し2か年にわたり工事が実施された。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	負担金補助及び交付金	4,161	京都府西岡緊急自然災害防止対策(急傾斜)工事負担金(5年度分)									

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,600	0	0	0					
	② 補正予算	3,400	0	0	0					
	③ 繰越予算	△ 7,872	7,872	0	0					
	前年度繰越	0	7,872	0						
	次年度繰越	△ 7,872	0							
小計(①~③)		2,128	7,872	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	28	72	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	2,100	7,800	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	2,128	7,872							
	③ 執行額	2,128	4,161							
	④ 執行率	100.0%	52.9%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.13 / 0.00	0.11 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	1,040	880							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,168	5,041							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	北岡斜面崩壊対策事業(防災対策)		種類	総務債	4,100	実績金額	決算附属資料	51	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	事業実施後の土砂崩れによる家屋被害発生件数(年間)	箇所	箇所	/	0 / 0	0 / 0	/ -
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	事業箇所	箇所	/	1 / 1	1 / 1	/ -	0
	単位あたりコスト		/	2128.0	4161.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	下六人部地区浸水被害軽減対策事業(農業用施設)						事業コード	060105550401		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932			
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課				所属長	小西 晴之			
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	05 農地費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168・169 頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
関連事業	下六人部地区浸水被害軽減対策事業(道路改良)、管渠施設拡張事業(雨水管渠布設)									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	平成26年8月豪雨等において、浸水被害が発生した下六人部地区の浸水被害軽減を図ることを目的に、農業用施設、道路排水施設、下水道施設の整備等を総合的に実施する。									
対象者	関係自治会(上松、長田段、市の谷)			対象者数	3,131		単位あたりコスト	15.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	(株)BLUEWORLD、(株)拓一工業、サンスイコンサルタント(株)福知山事務所									
事業概要 (箇条書き)	・農業用ため池の治水機能に係る貯水量確保のため、砂子池の測量設計業務を実施した。 ・農業用ため池の治水機能に係る堤体補強のため、長田中池及び長田新池の改修工事を実施した。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容						
	工事請負費	34,067		長田新池改修工事、長田中池改修工事						
	委託料	9,966		砂子池測量設計業務						

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	6,100	42,800	90,600	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)		6,100	42,800	90,600	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	6,100	42,800	90,600	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	1,233						
	② 配当予算	6,100	44,033						
	③ 執行額	5,390	44,033						
	④ 執行率	88.4%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,000	4,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,390	48,033						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	下六人部地区浸水被害軽減対策事業(緊急自然災害防止対策)	種類	農林業債	実績金額	34,000	決算附属資料	52	頁
		下六人部地区浸水被害軽減対策事業(緊急浸水推進)		農林業債		9,900		52	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	浸水被害箇所数	箇所	/	0 / 0	0 / 0	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	整備完了箇所数	箇所	/	0 / 0	2 / 2	/	2	4
	単位あたりコスト		/	/	22016.5	/		
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	市営林管理事業					事業コード	020105210123									
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立									
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932									
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	中田 浩二									
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	05 財産管理費		会計	01 一般会計		決算附属資料	69		頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-					R6現在の状況	継続中				
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()															
関連事業	-															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	財産である市有林の有効な活用。 令和6年3月31日に契約満期を迎えた大江町北原にある分収育林(おもいで森)にかかる契約の履行。 また、主伐(皆伐)後2年以内の造林が必要であるため、主伐の進捗状況を見つつ、本事業により引き続き森林整備を行う。															
対象者	市内森林所有者(森林簿情報、共有者数含まない)				対象者数	14,502		単位あたりコスト	0.6							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()															
委託先・実施主体等	-															
事業概要 (箇条書き)	市と緑のオーナーとが森林の共同経営(分収契約)を行うことにより、森林・林業に関する理解を深め、市民協働の森づくりを行うことを目的とする「大江おもいで森」について、契約満期を迎えることに伴い、一般競争入札により立木の売払契約を締結し、木材販売額について、分収育林契約に基づき、市と緑のオーナーとの間で分収した。															
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容											
	役員費		14		郵送料											
	補償、補填及び賠償金		1,739		分収育林契約満期に伴う分収金											
	積立金		4,399		おもいで森づくり事業基金積立金											

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,758		14,271		1,090		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		2,758		14,271		1,090		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		1,090		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	2,758		14,271		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		△ 8,119							
	② 配当予算	2,758		6,152							
	③ 執行額	2,325		6,152							
	④ 執行率	84.3%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.06 / 0.00		0.20 / 0.30		/		/			
	② 概算人件費	480		2,440							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,805		8,592							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緑のオーナー事業基金繰入(おもいで森づくり事業基金)		種類	基金繰入金		14		37	頁	
		分収育林(大江おもいで森)立木売払収入			生産物売払収入		実績金額				6,138

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	緑のオーナーへの分収	人	95	/	97	96	/	97	97	/	97	97
市内森林整備面積(間伐+造林)	ha	258	/	587	141	/	587	集計中	/	270	270	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	情報誌送付回数	回	1	/	3	1	/	3	1	/	3	-
	単位あたりコスト		4846.0		2325.0		6152.0					
	森林整備面積(市有林)	ha	18.95	/	33	0	/	0	0	/	0	0
単位あたりコスト		255.7										

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市の財産である市有林を適正に管理し、公益的機能を最大限発揮させるために必要な事業である。また、長期にわたる市と緑のオーナーとの森林の共同経営(分収契約)の最終的な履行と、皆伐後の再植栽等のために必要な事業である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	分収育林契約の履行にあたり、分収金を最大化すべく一般競争入札により立木売払先事業者の選定を行った。また、分収に当たっては、当初の契約に基づき適正に履行した。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	30年にわたる分収育林契約を履行するとともに、分収後の木材売払収入については、皆伐後の再生林の原資として適切に積立を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 大江おもいで森については、分収育林契約が満期を迎え、令和9年度末までの間に皆伐が実施されることとなった。当該地は国定公園の指定及び保安林の指定を受けていることから、適切に造林を行い、景観の保全や森林の公益的機能の向上に努める。 他の市営林について、間伐を要する箇所については、引き続き本事業において森林整備を行う。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 市有林の公益的機能発揮のために、今後も適切に間伐を行う。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	林地保全事業					事業コード	060202210112				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	中田 浩二				
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R6現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	福知山市林地保全事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	令和5年台風第7号により被災した人家裏等の林地の崩壊箇所のうち、国、府の補助採択要件を満たさないもので、家屋等に直接被害をおよぼしている林地について、関係住民の安心と安全な生活を守るため、市単独事業により地元自治会の復旧対策工事を支援する。										
対象者	保全対象戸数	対象者数	4	単位あたりコスト	1,230.3						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	自治会										
事業概要 (箇条書き)	家屋等に直接被害をおよぼしている箇所の復旧対策工事に對して、補助金を交付する。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	3,001	林地保全事業補助金 4自治会								

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0	0	0	0	0	
	② 補正予算	0	0	6,070	0	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計(①~③)		0	0	6,070	0	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	6,070	0	0	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	0	
	② 配当予算	0	0	6,070	0	0	0	0	0	
	③ 執行額	0	0	3,001	0	0	0	0	0	
	④ 執行率		100.0%	49.4%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.00	/	0.00	0.24	/	0.00	/	/	
	② 概算人件費	0		1,920						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		4,921						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	林地保全対策工事完了箇所	箇所	/	/	4 / 4	/ -	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	補助金交付自治会	自治会	/	/	4 / 4	/ -	-
	単位あたりコスト				750.3		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	小規模治山事業					事業コード	060202210114				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課				所属長	中田 浩二				
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	令和5年8月14日から16日発生台風第7号豪雨災害により被災した人家裏等の林地において治山工事を実施する。										
対象者	保全対象戸数	対象者数	1	単位あたりコスト	4,739.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社果無										
事業概要 (箇条書き)	被災した人家裏の測量・設計を実施(保全対象 1戸 大江町清水地内)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	委託料	2,739	小規模治山施設測量設計業務								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	11,000	0			
	② 補正予算	0	14,000	0	0			
	③ 繰越予算	0	△ 8,000	8,000	0			
	前年度繰越	0	0	8,000				
	次年度繰越	0	△ 8,000					
小計(①~③)	0	6,000	19,000	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	6,000	8,600	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	8,000	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	0	2,400	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	0	6,000					
	③ 執行額	0	2,739					
	④ 執行率	0.0%	45.7%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00	0.25 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	0	2,000					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,739						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	小規模治山事業	種類	農林業費府支出金	実績金額	0	決算附属資料	頁
		小規模治山事業		農林業費分担金		0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	早期着手件数	箇所	/	/	1 / 1	/ 1	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	保全対象戸数(測量・設計)	箇所	- / -	- / -	1 / 1	/ 1	2
	単位あたりコスト				2739.0		
	保全対象戸数(工事)	箇所	- / -	- / -	- / 0	/ 2	2
	単位あたりコスト						

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	災害に強い森づくり事業					事業コード	060202550301					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策			施策コード	932						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	172・173	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府委託事業)											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	台風等により保全機能が低下した森林において、森林荒廃の拡大、土砂等の流出による再度被害を防止するため治山施設を設置する。											
対象者	保全対象戸数	対象者数	5	単位あたりコスト	4,420.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	加藤建設株式会社											
事業概要 (箇条書き)	○平成30年7月豪雨により被害を受けた雲原地区の山腹の復旧を行うため、治山工事を発注する。 治山工事(繰越)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	332	消耗品、印刷製本費									
	工事請負費	19,686	雲原治山復旧工事									
	補償補填及び賠償金	243	立木補償									

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	40,000	3,300	108,900	0				
	② 補正予算	△ 8,000	△ 3,300	0	0				
	③ 繰越予算	△ 20,260	20,260	0	0				
	前年度繰越	0	20,260	0					
	次年度繰越	△ 20,260	0						
小計(①~③)	11,740	20,260	108,900	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	11,740	20,260	108,900	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	11,740	20,260						
	③ 執行額	11,740	20,260						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.23 / 0.00	0.23 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,840	1,840						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,580	22,100							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	災害に強い森づくり事業(繰越明許費)	種類	農林業費府委託金	実績金額	20,260	決算附属資料	29	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	整備完了件数	件	/	/	1 / 1	/ 3	5
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	整備地区数(H30.7災)	地区	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	1
		単位あたりコスト	19149.0	11740.0	20260.0		
	整備地区数(R5.8災)	地区	/	/	/	/ 4	4
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	平成30年に発生した豪雨災害により民家裏の災害復旧的な事業で、ニーズは高い。複数の土地に影響する事業であるので、市民自らが行なうことは困難である。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	京都府の委託事業の治山事業であるため、受益者負担は発生しない。コスト削減などについては、京都府と調整し、十分配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	成果実績は毎年度把握している。京都府からの委託事業であるため、100%補助で事業実施が可能で、受益者負担も発生しない有効性のある事業である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	平成30年7月豪雨による被害の復旧に際し、国庫補助事業で実施困難な箇所を京都府の単独事業である「災害に強い森づくり事業」として委託されているもので、他の災害復旧事業と同様であり、成果指標の設定は困難である。		
改善策	事業展開にあたっては地権者の同意が必要であるため、森林所有者等の確認について時間を要す場合があるが、森林経営管理事業とも連携しながら早急に進める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	河川維持管理事業						事業コード	080301550317		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932			
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代			
会計情報	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	188 頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	-									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()									
関連事業	河川維持管理事業(緊急浚渫)									

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	河川及び調整池等を適正に管理し、周辺環境の保全を進めることで、出水時の被災を未然に防止し市民生活の安全性の向上を図る。									
対象者	全市民(特に河川流域住民、調整池下流域住民)				対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.3	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()									
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者等									
事業概要 (箇条書き)	・市管理河川の維持管理経費。市全域で管理する380河川を適正に管理し健全性を保つために、河川護岸及び河床などの損壊箇所の補修を行う。 ・河川、調整池等に堆積している土砂の浚渫、除草等を行い、流下能力を確保し、災害防止を図る。 ・河川への流入を抑制するため、調節池の管理を行う。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容							
	工事請負費	19,877	河谷川樋門堤防改修工事、持原池浚渫工事、西川調節池浚渫工事、西川維持管理工事、大谷川取付水路改修工事							
	委託料	1,799	小原田川支障木撤去業務、荒河ヒルズ調整池伐採業務、瘤木川大型土のう設置業務、西川管理道除草ほか							
	需用費	536	甘栗川河床修繕ほか							
	使用料及び賃借料	332	持原池使用料、危機管理型水位計、カメラシステム使用料							
役務費	155	水無田川土砂撤去ほか								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,942	23,442	7,781	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	14,942	23,442	7,781	0					
予算財源内訳	① 一般財源	14,593	23,057	7,407	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	349	385	374	0				
決算情報	① 流充用額	△ 344	0						
	② 配当予算	14,598	23,442						
	③ 執行額	14,172	22,699						
	④ 執行率	97.1%	96.8%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.35 / 0.00	0.32 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,800	2,560						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,972	25,259							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	準用河川占用料	種類	土木使用料	実績金額	405	決算附属資料	9	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
河川氾濫件数		件	0 / 0	0 / 0	9 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	浚渫業務実施数	件	- / -	- / -	- / -	/ -	累計5
	単位あたりコスト		0.0				
	除草業務実施数	件	8 / 5	9 / 7	6 / 13	/ 3	累計25
単位あたりコスト		6013.1	1574.7	3783.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 河川流域住民の安心・安全を守るために必要な事業であり、河川・調整池等の浚渫や除草を行い河川断面を確保することで、出水時の被災軽減に寄与した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な河川環境の確保のため、工法選定や見積徴収等、コスト削減を意識し適正に維持管理を実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の流下能力や調整池等の貯留機能の確保により災害防止効果を高め安全性を向上させることは、河川周辺的生活環境の向上に繋がり、市民生活の安全性の向上の観点からも有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市内の河川及び調整池等を適正に維持管理し、流下能力を確保することで、災害防止を図ることを目的としており、市民生活の安心・安全を守るために事業実施している。 市管理河川は380河川、全体の延長が約371kmあり広範囲にわたっている。そのほとんどが河川法が適用されない普通河川で、交付金、補助金の対象とならないため財源が限られている(河川占用料など)。		
改善策	すべての要望を実施することは困難であるが、未然に災害を防止するために、河川や調整池等の浚渫や緊急的な修繕等を精査し、優先順位をつけ効果的・効率的に実施していきたいと考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	河川維持管理事業(緊急浚渫)						事業コード	080301550318								
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立									
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932									
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代									
会計情報	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	188		頁
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R6現在の状況	継続中				
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()															
関連事業	河川維持管理事業															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	河川を適正に管理していく上で、河川の保全及び出水時の被災を未然に防止し市民生活の安全性の向上を図る。														
対象者	全市民(特に河川流域住民)				対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()														
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等														
事業概要 (箇条書き)	・河川浚渫に係る経費 ・令和6年度は、猪ノ田川ほか3河川の浚渫を実施予定														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容										
	工事請負費		44,889		大谷川、平石川、瘤木川、毛原川、的場川、室川、山崎川、常津川、宮の奥川、文治郎川、畑川、日ノ谷川浚渫工事										

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	45,000		45,000		25,000		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		45,000		45,000		25,000		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	45,000		45,000		25,000		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	45,000		45,000							
	③ 執行額	44,820		44,889							
	④ 執行率	99.6%		99.8%							
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.68 / 0.00		0.42 / 0.00		/		/			
	② 概算人件費	5,440		3,360							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		50,260		48,249							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	河川維持管理事業(緊急浚渫)(緊急浚渫推進)		種類	土木債		44,800		決算附属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	浚渫完了河川数	河川	2	/	2	10	/	6	12	/	8	累計19
浚渫完了河川数(累計)	河川	2	/	19	12	/	19	24	/	19	累計19	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	浚渫工事実施数	件	5	/	4	6	/	6	8	/	5	累計23
	単位あたりコスト		8820.2		7470.0		5611.1					
	浚渫工事実施数(累計)	件	7	/	23	11	/	23	19	/	23	累計23
単位あたりコスト		6300.1		4074.5		2362.6						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の浚渫を行い河川断面を確保することで、出水時の被災を軽減し、河川流域住民の安心・安全に寄与した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 有利な財源である緊急浚渫推進事業債を活用し、安心・安全な河川環境の確保のため、被災後のコスト削減を意識しながら適正に河川浚渫を実施した。 浚渫土砂の運搬費、処分地費用等比較しコスト縮減を図っている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 河川の流下能力の確保により災害防止効果を高め安全性を向上させることは、河川周辺の生活環境の向上に繋がり、市民生活の安全性の向上の観点からも有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>市内の河川を適正に維持管理し、流下能力を確保し、災害防止を図ることを目的としており、市民生活の安心・安全を守るために事業実施している。当事業では、土砂が堆積し災害が予測される箇所を重点的に対応している。市管理河川は380河川、全体の延長が約371kmあり広範囲にわたっている。そのほとんどが河川法が適用されない普通河川で、交付金、補助金の対象とならないため、これまで河川占用料など限られた財源で、維持管理を実施していた。普通河川での事業も対象となる緊急浚渫推進事業債は令和2年度から5か年とされており、財源の確保が課題である。</p>		
改善策	<p>緊急浚渫事業債を活用し緊急的に浚渫が必要な河川の調査を行い、緊急浚渫推進事業債が使える期間内に効率的に少しでも多くの河川浚渫を実施していきたいと考えている。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	由良川改修関連事業					事業コード	080301550390					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策			施策コード	932						
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	188	頁
計画期間	開始年度	不明		終了予定年度	令和8年		関連計画名	-		R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	由良川治水促進同盟会等により要望活動を実施することで、由良川緊急治水対策を含む由良川改修事業の促進が図られ、沿川住民の安心・安全に寄与する。国及び関係機関と地元との調整を行うことで由良川改修事業の促進を図る。 由良川の環境保全等に関し国土交通省をはじめ関係機関並びに地元との調整をおこない、市民の防災意識の向上に努める。											
対象者	全市民			対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	近畿直轄河川治水期成同盟会連合会、由良川治水促進同盟会											
事業概要 (箇条書き)	・由良川改修にかかる着実な予算確保を目的に、近畿直轄河川治水期成同盟会による要望活動や、由良川沿川5市1町で構成する由良川治水促進同盟会による要望活動の展開を図る。 ・関係団体による大会等へ積極的に参加し、予算確保に向けた活動を展開する。 ・由良川改修事業の円滑な進捗のため、関係部署や地元自治会、地権者との協議・調整を行う。 ・由良川の良好な環境保全や取り組み等について活動や支援、協力を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	407		各種協会等負担金								
	旅費	396		要望活動に係る出張旅費								
	需用費	330		プリンター等								
	役務費	50		通信料								
	その他	65		報償費(50)、使用料及び賃借料(15)								

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	2,036		2,060		2,016		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		2,036		2,060		2,016		0			
予算財源内訳	① 一般財源	2,036		2,060		2,016		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	2,036		2,060							
	③ 執行額	1,758		1,249							
	④ 執行率	86.3%		60.6%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.97 / 0.00		1.48 / 0.00		/		/			
	② 概算人件費	15,760		11,840							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,518		13,089							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	由良川改修関連事業(きょうと地域連携交付金)		種類	土木費府補助金		186		決算附属資料	27	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	緊急治水対策における堤防整備率	%		95	/ 100	95	/ 100	100	/ 100	/	-
緊急治水対策における宅地嵩上げ契約数	戸		92	/ 92	92	/ 92	/	-	/	-	92(完了)
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	同盟会活動回数(年間)	回	10	/ 10	10	/ 10	14	/ 10	/	10	10
	単位あたりコスト		109.7		175.8		89.2				
	単位あたりコスト		/		/		/		/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年から30年度まで6年間で4回の浸水被害があり、治水事業の促進は市民のニーズが非常に高い。 由良川治水促進同盟会は、沿川5市1町の首長で組織して活動しており、福知山市長は同盟会の会長となっている。 コロナ禍であったが、国土交通省・地元選出国會議員等への要望活動で東京方面へ行くことができ、治水事業の推進に向けた活動を行うことができた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 会費は会員市町で公平に負担している。 他の同盟会と要望活動の日程を合わせ旅費の削減、効率的な活動を行っている。 国と地元の間に福知山市が入り調整することで円滑な事業進捗が図られ、地元要望を踏まえた工事が実施された。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 要望活動を実施することで、緊急治水対策をはじめとする治水事業の予算確保が保たれており、着実に事業が進んだ。 連続堤防、輪中堤、宅地嵩上げのいずれも早期の完成を目指し、着実に進んだ。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	築堤、宅地嵩上げ等の治水対策実施エリアにおいては、由良川本川からの浸水を防ぐ事ができた。中流部では、河道掘削に向けた用地取得等が実施された。公共事業予算が益々厳しくなる中で、治水対策を推進するため、関係機関や地元自治会等との調整を今後も綿密に行う必要がある。引き続き、積極的に要望活動を展開し、由良川改修の更なる促進を図っていくが、全国的に災害が激甚化する中、国の財政も厳しい状況である。		
改善策	治水対策の推進のため、確実に公共事業費を確保していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	排水機場・樋門管理事業						事業コード	080301550391						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932							
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人							
会計情報	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	188	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R6現在の状況	継続中			
根拠法令等	-													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
関連事業	排水ポンプ車運転管理事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の河川管理施設(排水機場、樋門等)を適切に管理・操作し、由良川等の河川の増水から市民の安心・安全な生活を守る。													
対象者	市民(特に由良川沿川住民)				対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.4					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	樋門操作員、樋門管理を行っている自治会・水利組合・農区等													
事業概要 (箇条書き)	・国土交通省及び京都府からの委託を受け、排水機場・樋門施設の維持管理及び運転・操作業務等を行う。 ・市直轄管理樋門について施設の維持管理及び運転・操作業務を行う。 ・台風などの豪雨や長雨等の影響で由良川が増水し支流への逆流の恐れがある場合に、施設の操作を行ない河川流域住民の安心・安全な生活を守るもの。													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容									
	委託料		12,841		樋門管理業務委託料									
	需用費		621		電信・電話料等、燃料代、消耗品等									
	負担金補助及び交付金		349		排水機場出務に係る負担金									
	役務費		324		保険料、郵送料									

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,662		18,202		17,653		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①~③)		14,662		18,202		17,653		0					
予算財源内訳	① 一般財源	7,829		11,513		10,964		0					
	② 国支出金	98		94		94		0					
	③ 府支出金	6,735		6,595		6,595		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0		0		0					
	② 配当予算	14,662		18,202		0		0					
	③ 執行額	13,963		14,134		0		0					
	④ 執行率	95.2%		77.7%		0		0					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.48 / 4.00		0.78 / 4.30		/		/					
	② 概算人件費	15,040		18,280		0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		29,003		32,414		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	排水機場操作(法川・荒河・弘法川排水機場)		種類	土木費国庫委託金		実績金額	8,124		決算附属資料	21		頁
		河川施設操作			土木費府委託金			3,712			29		
		排水機場操作(新荒河排水機場)			土木費府委託金			2,298			29		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	由良川、府河川の支川逆流を原因とする被害件数	件	0	/	0	0	/	0	0	/	0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	平常時点検回数(各施設・年間)	回	596	/	596	612	/	612	612	/	612	612
	単位あたりコスト		23.3		22.8		23.1					
	排水機場警戒体制従事時間数(延べ)	時間	1248	/	-	341	/	-	901	/	-	-
単位あたりコスト		11.1		40.9		15.7						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 国・府・市と地元が連携しての治水対策であるとともに、河川管理者の立場として実施する事業であるため、民間事業者や地元市民だけでは実施できない事業である。 有事の際に適切に施設を稼働できる体制で出水に備えた。 由良川増水時に支川への逆流が発生したが、排水機場施設を稼働し、逆流を止めた。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 国庫委託金及び府委託金により受託している。 費用については公共工事設計労務単価を基準にしており、適正な価格で実施した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場および樋門は、由良川および府河川から支川への逆流による被害を防止するための施設であり、逆流による被害を出さないことを事業の目標としている。 管理すべき施設について、全てを平常時に適切に維持管理することで災害に備えるとともに、有事の際に適切に運転することを活動目標としている。 維持管理の実績指標として定期点検回数を挙げているが、定められた回数どおり確実に点検を実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 事業の目的は、排水機場施設及び樋門施設を平時から適切に維持管理し台風や豪雨による由良川の増水に備えておくとともに、有事の際には迅速かつ的確に施設の操作を行なうことで河川流域住民の安心・安全な生活を守ることである。平時の維持管理として、各施設について出水期は2回/月、非出水期は1回/月、それぞれ欠かさず点検を実施しているとともに、国・府とも合同点検を行うなどして異常の有無やよりよい運用方法について意見交換をしながら有事に備えられている。 当該事業は、災害等による被害を出さないことが目的であるため、成果実績は最小件数＝最大成果である。また、大きな出水がなく出勤しないことが理想であり事業評価と活動実績が比例するものではないため、出勤に関する数値目標は設定しない。【定性的評価】 排水機場については、出水時の現場出務を建設交通部と上下水道部で分担しているが、職員数に余裕がないため十分な要員数が確保できず、職員の負担が増加している。令和6年度からは管理する排水ポンプ場が2か所増えるため、一層の負担増が見込まれる。 樋門施設については、設置されている地域の自治会等へ維持管理及び運転操作を業務委託しているが、地元から「住民の高齢化により操作員を確保することが年々難しくなっている」との意見が出ている。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 出水時の施設の運用方法について、現在と異なる体制での運用等を検討し、機能を保ちつつ職員の負担軽減を図る。 排水ポンプ場への出務について現在担当している建設交通部と上下水道部に加え他の部局を追加し、緊急時に対応可能な職員の増員を図る。 国交省も国直轄管理の樋門施設で操作員の確保が難しくなっているという同様の問題を抱えており、業者委託の可否についても検討されているとのことなので、随時情報交換しながら今後の体制について検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	急傾斜地崩壊対策事業						事業コード	080301550392			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	188・189	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	地方財政法、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律、福知山市土木事業分担金徴収条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	急傾斜地について崩壊対策を実施することにより、人家・避難所・避難路の災害被害を低減する。										
対象者	該当地区住民	対象者数	221	単位あたりコスト	38.4						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (京都府施工による負担金)										
委託先・実施主体等	京都府										
事業概要 (箇条書き)	京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業は、本市域の大江町三河と北岡の2か所で実施されている。 三河地区では、工事費の5%を本市負担とされており、その内1/2を地元から負担金として徴収している。 北岡地区では、平成26年8月豪雨により斜面が崩壊したため、本来であれば急傾斜地崩壊対策事業の対象外であるが、負担金を全額本市が負担することで緊急的に事業が実施されている。令和5年度で事業完了										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	8,092	京都府急傾斜地崩壊対策事業負担金								

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	0					
	② 補正予算	18,109	8,092	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)		18,109	8,092	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,509	1,842	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	13,100	4,500	0	0					
	⑤ その他特財	2,500	1,750	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	18,109	8,092							
	③ 執行額	18,109	8,092							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.12 / 0.00	0.05 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	960	400							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,069	8,492							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	急傾斜地崩壊対策事業(緊急自然災害防止対策)		種類	土木債	実績金額	4,500	決算附属資料	54	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	事業実施後の土砂崩れによる家屋被害発生件数(年間)	箇所	0 / 0	0 / 0	/ 0	/ 0	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	事業箇所	箇所	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 1	0
	単位あたりコスト		3726.5	9054.5	4046.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 三河地区、北岡地区において、急傾斜地の法面工事を実施し、安全な生活環境整備に向けて取り組み、北岡地区については完成した。 当該事業については、昨今の集中化・局地化する大雨に対応するため早期の完成が必要な事業である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 三河地区においては、地元負担金として工事費の5%の1/2を負担いただいている。 北岡地区においては、本来であれば当該事業の対象ではなかったが、京都府との調整において事業化いただき、負担金については本市が全額負担することで緊急的に実施いただいた。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の安心安全な生活環境を確保するために非常な有効な事業である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	三河地区、西岡地区の急傾斜地の法面工事を実施するものであり、三河地区においては地元負担金を負担していただきながら、地域の安心・安全な環境整備に寄与している。 原則地元負担金が発生することもあり、次期候補地の選定が課題である。		
改善策	事業の対象となる地域に声掛けをしていくなど、京都府と一体となって途切れのないよう実施していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	---------------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	内水対策事業						事業コード	080301550403								
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立									
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932									
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代									
会計情報	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	189		頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	由良川水系河川整備計画				R6現在の状況	継続中			
根拠法令等	-															
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()															
関連事業	-															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	由良川沿川の内水被害が発生する区域において、被害軽減対策を実施する。														
対象者	市民(特に由良川沿川住民)				対象者数	37,283		単位あたりコスト	9.9						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()														
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者、一般財団法人関西電気保安協会等														
事業概要 (箇条書き)	・内水被害が発生する区域において、河守～公庄地区をモデルとした被害軽減対策に係る救急排水ポンプ施設及び調節池の整備を実施した。 【主な利用特財】 内水対策事業(土木債 公共事業等 明許繰越1,750千円 通次繰越42,550千円、防災対策 現年95,600千円 緊急自然災害防止対策 現年25,600千円 明許繰越30,300千円、防災減災国土強靱化 明許繰越30,000千円)														
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容										
	工事請負費	356,661			河守救急排水ポンプ施設整備工事、公手川改修工事ほか(明許91,584、通次141,855)、公手川改修工事、陸開新設工事、オカ前田線改良工事(現年123,222)										
	委託料	4,613			河守救急排水ポンプ場施設電気設備保安管理業務、機械設備点検・整備業務(現年)										
	需用費	375			河守救急排水ポンプ施設管理棟消耗品、電気代、燃料費(現年)										
	役員費	41			危険物取扱所完成検査手数料、河守救急排水ポンプ施設電話代(現年)										

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	335,050		131,645		6,400		0					
	② 補正予算	45,000		0		0		0					
	③ 繰越予算	120,255		233,439		0		0					
	前年度繰越	353,694		233,439		0							
	次年度繰越	△ 233,439		0									
小計(①～③)		500,305		365,084		6,400		0					
予算財源内訳	① 一般財源	2,754		24,035		6,400		0					
	② 国支出金	136,634		63,264		0		0					
	③ 府支出金	112,917		47,285		0		0					
	④ 地方債	248,000		230,500		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	500,305		365,084									
	③ 執行額	489,125		361,690									
	④ 執行率	97.8%		99.1%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.55 / 0.00		0.87 / 0.00		/		/					
	② 概算人件費	12,400		6,960									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		501,525		368,650									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	内水対策事業(社会資本整備総合交付金) ※繰越明許		種類	土木費国庫補助金		実績金額	15,979		決算附属資料	19		頁
		内水対策事業(社会資本整備総合交付金) ※通次繰越			土木費国庫補助金			47,285			19		
		内水対策事業府負担金 ※通次繰越			土木費府負担金			47,285			22		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	10年確立降雨による床上浸水被害件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	危機管理型水位計設置	箇所	- / -	- / -	- / -	- / -	- / -	- / -	3 (完了)		
	単位あたりコスト		0.0								
	池及びポンプ施設整備	箇所	0 / 1	0 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1 / 1	1		
単位あたりコスト						361690.0					

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	下六人部地区浸水被害軽減対策事業(道路改良)						事業コード	080301550405						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立							
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932							
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	川島 奈都代							
会計情報	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	189	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	-		R6現在の状況	継続中			
根拠法令等	-													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()													
関連事業	-													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	下六人部地区で浸水被害が発生する区域において被害軽減対策に係る排水構造物の改修を実施する。													
対象者	関係自治会(上松、長田段、市の谷)				対象者数	3,137		単位あたりコスト	16.8					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()													
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者													
事業概要 (箇条書き)	・浸水被害が発生した区域において、現地測量及び設計業務を実施した。 ・浸水被害軽減に必要な排水構造物の改修工事を実施した。													
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容									
	工事請負費		34,790		多保市土師線側溝改良工事、市の谷線側溝改良工事、長田岩間線道路側溝改良工事									
	委託料		10,195		松山下線ほか2路線道路詳細設計業務									

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	13,000	46,000	138,400	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)		13,000	46,000	138,400	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	13,000	46,000	138,400	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	13,000	46,000						
	③ 執行額	11,605	44,985						
	④ 執行率	89.3%	97.8%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.30 / 0.00	0.97 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,400	7,760						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,005	52,745						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	下六人部地区浸水被害軽減対策事業(道路改良)(緊急自然災害防止対策)		種類	土木債	44,900	決算附属資料	54	頁
		実績金額							

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		該当地域における浸水被害件数	件	/	0 / -	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	整備実施路線数	路線	/	0 / -	3 / 3	/ 4	14
	単位あたりコスト				14995.0		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者、市民には実施できない公共事業として、今後自然災害が発生した場合の浸水被害を軽減するために改修が必要な路線の検討を実施した。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 改修路線検討の際、道路排水施設、下水道施設、農業用施設それぞれの事業について、進捗に応じて都度活用可能な財源を確保し可能な限りコストを抑え効率化を図るよう努めた。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の安心・安全な生活の確保を成果目標に、今後自然災害が発生した場合の浸水被害を軽減するために改修が必要な路線の検討を実施した。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	浸水被害が発生する区域において、被害軽減対策に係る排水施設を下水道施設、農業用施設と併せて総合的に整備、改修することで、地域住民の安心・安全に寄与するとともに、その後の災害復旧などにかかる負担を抑えることにも繋がる。 当該事業は、災害等による被害を出さないことが目的であるため、成果実績は最小件数＝最大成果である。 広域的な計画となるため、予算の確保が必要となる。		
改善策	早期完成を目指し、関係課と連携しながら予算を確保し、計画的な事業執行を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	---------------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	排水ポンプ車運転管理事業						事業コード	090105550196			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策				施策コード	932				
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 災害対策費	会計	01 一般会計	決算附属資料	207	頁
計画期間	開始年度	令和1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	排水機場・樋門管理事業、由良川水系樋門等施設管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	浸水被害が発生したとき又は浸水被害の発生が予測されるときに、市が所有する排水ポンプ車を使用し内水等を強制的に河川に排水することにより、家屋等への浸水被害を軽減し、又は防止することで市民の安心・安全に寄与する。										
対象者	全市民			対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	排水ポンプ車運転実施業者										
事業概要 (箇条書き)	・市所有の排水ポンプ車(3号車)を使用し内水を排除することで、住家並びに主要幹線道路等の浸水被害の軽減を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容						
	委託料	734			排水ポンプ車運転管理業務						
	需用費	24			消耗品						
	役務費	22			自動車損害共済共済基金分担金						

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	6,714		6,304		6,741		0	
	② 補正予算	△ 5,330		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)		1,384		6,304		6,741		0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,384		6,304		6,741		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 4,296					
	② 配当予算	1,384		2,008					
	③ 執行額	1,126		780					
	④ 執行率	81.4%		38.8%					
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.28	/	0.00	0.32	/	0.00	/	/
	② 概算人件費	2,240		2,560					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,366		3,340					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
								決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	市直轄の排水ポンプ車出動回数	回	0 / -	0 / -	0 / -	/ -	0
	単位あたりコスト		0.0				
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	由良川堤防整備が進み、内水対策が課題となってくる中で、排水ポンプ車への関心は非常に高いものがあり、治水効果を高めるためにも必要不可欠である。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市が所有している排水ポンプ車については、日常の管理・実操作を含め民間委託しており、低コストで事業が実施できた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	排水ポンプ車の出動は、大規模洪水発生時となるが、排水ポンプ車だけの能力で全ての内水を排除することは困難である。しかし、排水ポンプ車の出動による作業により、一定の浸水被害軽減効果を発揮するものと考えている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和5年度、大雨等による出動実績はない。 本事業は「出動がないこと＝大きな出水がないこと」が理想であり、事業評価と活動実績が比例するものではないため、数値目標は設定しない。 【定性的評価】 由良川改修の築堤が完成し、内水対策の必要性が高まる中で、より効果的な排水ポンプ車の配備が求められることから、福知山市に限らず広域的な配備について検討・調整が必要となる。併せて、洪水時の排水ポンプ車に動員する職員、職員移動用公用車の確保等、課題がある。		
改善策	大雨時には、本市が所有する下水道課管理の排水ポンプ車2台と道路河川課管理の1台の計3台について、そのときの状況に応じて地域、場所等最適な配備を行う。また、他課より排水ポンプ車の動員要員を確保し、有事に備える。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	土木施設災害復旧事業					事業コード	130201120101				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策			施策コード	932					
事業担当	所属	35020000 建設交通部 道路河川課			所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	13 災害復旧費	項	02 土木施設災害復旧費	目	01 土木施設災害復旧費	会計	01 一般会計	決算附属資料	244	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	台風や集中豪雨により被災を受けた、道路・河川等を緊急的に復旧することにより、市民の安心・安全な生活を確保し、市民生活の向上につなげることを目的としている。										
対象者	全市民	対象者数	74,721	単位あたりコスト	7.7						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者										
事業概要 (箇条書き)	・台風や集中豪雨により被災を受けた、道路・河川等を緊急的に復旧するため、応急土砂撤去等、測量設計、工事発注を実施した。 【主な利用特財】 災害復旧債 土木施設災害復旧事業(現年・補助)繰越 15,200千円、災害復旧債 土木施設災害復旧事業(現年・単独) 212,400千円 災害復旧債 土木施設災害復旧事業(現年・単独)繰越 12,800千円、災害復旧債 土木施設災害復旧事業(緊急自然災害防止対策)繰越 6,500千円 災害復旧費指定寄附金 土木施設災害復旧費指定寄附金 52千円										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	委託料	470,792	落谷川、矢津川、上野川、宮ノ奥川、河西金山線ほか土砂撤去業務、災害復旧測量設計業務ほか								
	工事請負費	83,871	小峠川、安国川、六日川、薬師谷川、小谷線、大神宮線、寺ノ下支線ほか災害復旧工事								

III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	384,500	0				
	② 補正予算	76,840	999,700	0	0				
	③ 繰越予算	△ 36,643	△ 445,031	521,871	0				
	前年度繰越	40,197	76,840	521,871					
	次年度繰越	△ 76,840	△ 521,871						
小計(①~③)	40,197	554,669	906,371	0					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 4,246	4,363	12,628	0				
	② 国支出金	15,443	203,306	554,543	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	29,000	347,000	339,200	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	40,197	554,669						
	③ 執行額	0	554,663						
	④ 執行率	0.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00	3.00 / 0.05	/	/				
	② 概算人件費	0	24,140						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	578,803							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	土木施設災害復旧費負担金(現年)	種類	災害復旧費国庫負担金	実績金額	164,189	決算附属資料	14	頁
		土木施設災害復旧費負担金(繰越)		災害復旧費国庫負担金		30,605		14	
		土木施設災害復旧事業(現年・補助)		災害復旧債		81,900		57	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
R5災害 R5復旧完了数(査定箇所)		件	- / -	- / -	5 / 50	/ 50	50
	R5災害 R6復旧完了数(査定箇所)	件	- / -	- / -	- / -	/ 34	34
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	R5災害 R5復旧工事実施件数	件	- / -	- / -	0 / 17	/ 17	17
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
	R5災害 R6復旧工事実施件数	件	- / -	- / -	- / -	/ 12	12
	単位あたりコスト		0.0				

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域再建被災者住宅等支援事業					事業コード	030401530155				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	2 居住地の浸水対策、治山・治水対策			施策コード	932					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課			所属長	中川 博文					
会計情報	款	03 民生費	項	04 災害救助費	目	01 災害救助費	会計	01 一般会計	決算附属資料	139	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市大規模自然災害に係る地域再建被災者住宅等支援事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	大規模災害により生活基盤となる住宅に被害を受けた市民に対し、被災住宅の再建に要する費用の一部を補助する。また、早期に安定した生活を取り戻すことで地域コミュニティの崩壊を防止すると共に被災者の活力を取り戻す。										
対象者	大規模自然災害被災者(全壊、半壊、床上浸水)			対象者数	252		単位あたりコスト	4.8			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	復旧にあたって被災者が対象融資の貸し付けを受けた場合、その貸付の日から5年以内の利子相当額を要綱に沿って補助した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容							
	負担金補助及び交付金	88		住宅再建融資返済経費の補助(2件)							

III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	190		130		46		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①~③)		190		130		46		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	190		130		46		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0							
	② 配当予算	190		130							
	③ 執行額	100		88							
	④ 執行率	52.6%		67.7%							
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.07 / 0.15		0.07 / 0.20		/		/			
	② 概算人件費	980		1,120							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		1,080		1,208							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域再建被災者住宅等支援事業補助金		種類	民生費府補助金		88		決算附属資料	24	
					実績金額			頁			

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	住宅再建戸数(現年度発生災害)	戸	0	/	0	0	/	0	0	/	0	-
	住宅再建戸数(前年度発生災害)	戸	0	/	0	0	/	0	0	/	0	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	補助件数(現年度)	件	3	/	3	2	/	2	2	/	1	-
	単位あたりコスト		41.7		50.0		44.0					
	補助件数(繰越分)	件	0	/	0	0	/	0	0	/	0	-
	単位あたりコスト		0.0									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	被災者の生活再建において、住宅の復旧は欠かすことのできないものであり、復旧に係る補助支援は行政施策として優先度は非常に高い。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	復旧を行う被災者本人に対する補助であり、復旧費用の実績に応じて支給するため、効率的である。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	り災証明の交付内訳に基づき、床上浸水以上の被害を受けた被災者について、補助金交付を行い、被災者の生活再建の一助を成した。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	H30.7月豪雨災害において、一部損壊、床上浸水以上のり災証明の交付件数は252件に対して補助実績165件65.4%となっており、また再建費総額に対する補助金の充足率では、床上浸水・一部損壊で平均70.45%、半壊で平均42.42%、大規模半壊・全壊で平均10.32%となっており、床上浸水・一部損壊において本事業が生活再建に資する役割は大きい。【定性的評価】 H30.7月豪雨災害被災者に対する住宅再建費に対する補助金の交付はR2年度に終了した。住宅再建に係る融資の利子補給については、期限までに申請のあった3件について、融資を受けた日が属する年度から5年間、利子補給を行う。		
改善策	H30.7月豪雨災害の被災者支援にあたっては、H29災害と連続して被災された市民に対して、上乘せ補助を実施したが、今後、災害の内容、被害状況に応じて、府制度によらない追加支援についても、その都度検討する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--